

扶桑讀本
尋常科用
一之上

167
70

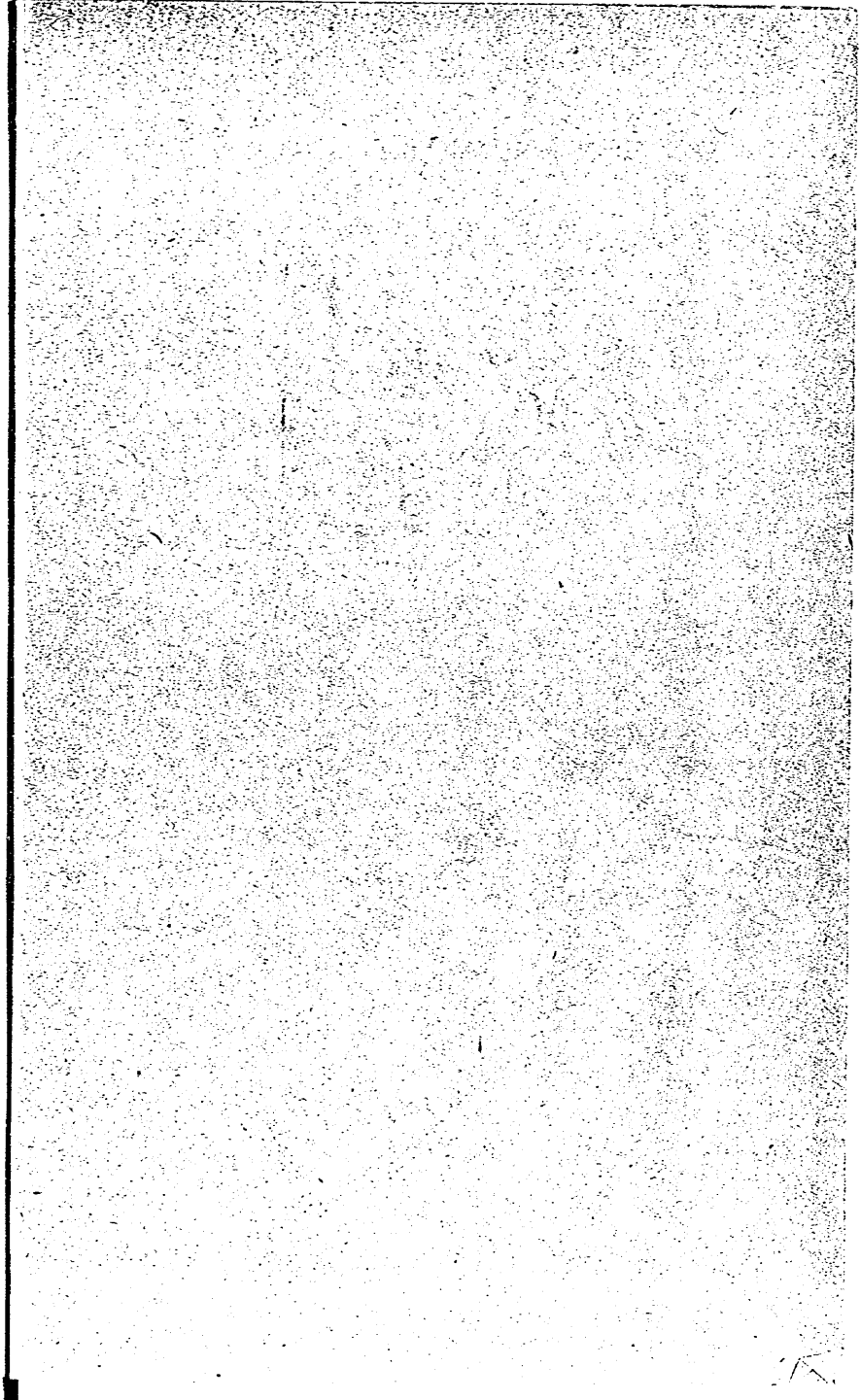
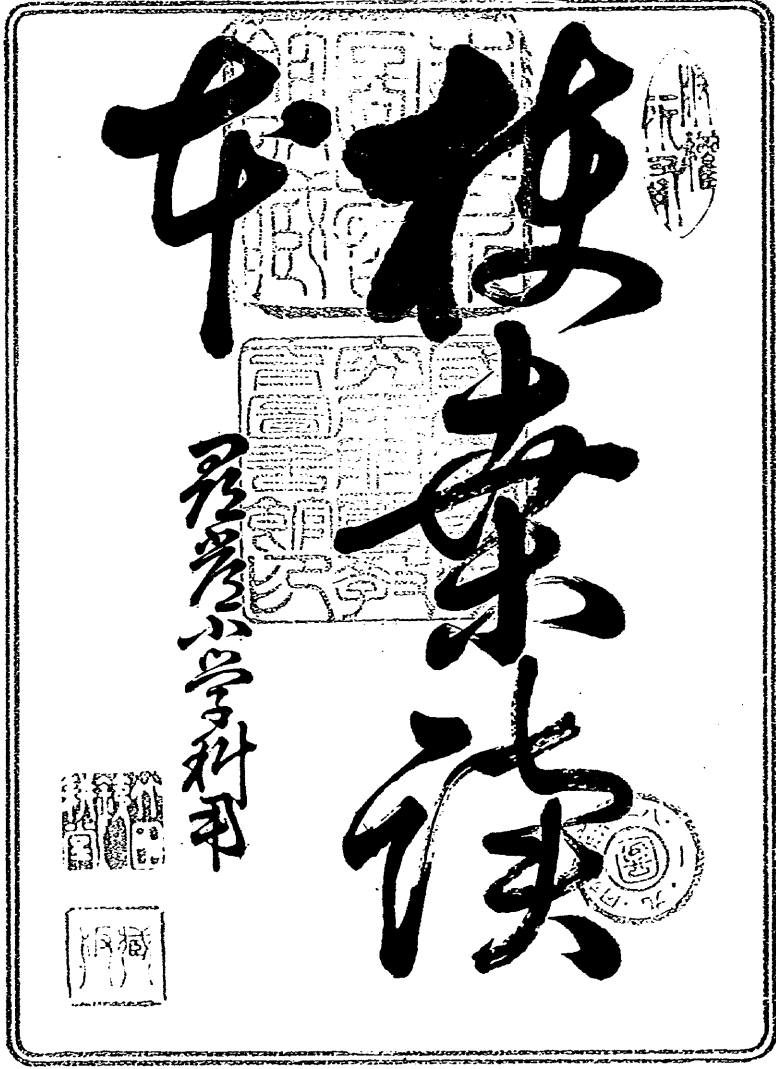
不認定等

K120.8
66
1.1

K120.8

66

1.1





例言

一本書ハ教則大綱ノ主趣ニ基キ諸教育家ノ説ヲ參酌シ尋常小學ノ教科用書ニ供スル目的ヲ以テ全部八冊トシ其前六冊ヲノミ用フルトキハ三學年尋常小學ニ用フベキ組織ヲ以テ編纂セリ

一本書載スル處ノ事項ハ快活ニシテ趣味アルモノヲ撰ビ修身地理歴史理科農工商業等日常必須ノ事柄ト聯絡シ其體裁ハ單語短句短文ヨリ普通文ニ入ルノ順序ヲ以テス其文體ハ談話體ヨリ文章體ニ入ルノ針路ヲ取レリ

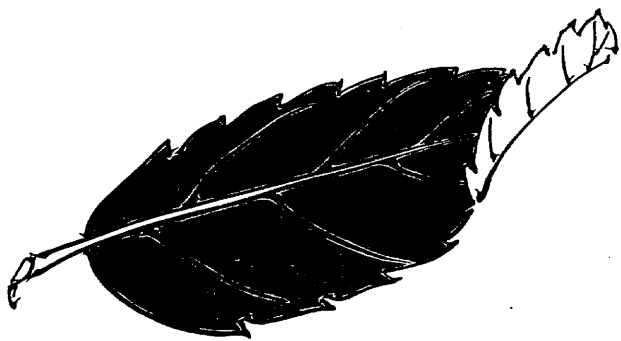
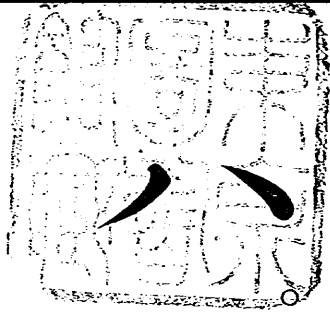
一第一卷ニハ片假名平假名音便濁音撥音ヲ學ブベク第二卷ニハ拗音及簡易ナル漢字ヲ修ムベク第

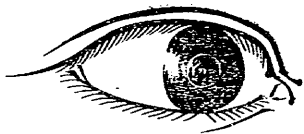
三卷以上ハ談話體ト文章體トヲ混シ第六卷ノ終ニ於テ一段落ヲナシ概テ普通ノ文章ニ通曉セシムベク編纂セリ

一本書ハ新出ノ文字ヲ欄外ニ掲ゲ毎週ニ重習課ヲ設ケ第一ニハ別ニ石盤習字ヲ置キ第二以上ハ重習課ヲ以テ之ヲ兼テシメ大ニ教授ノ便ヲ計レリ

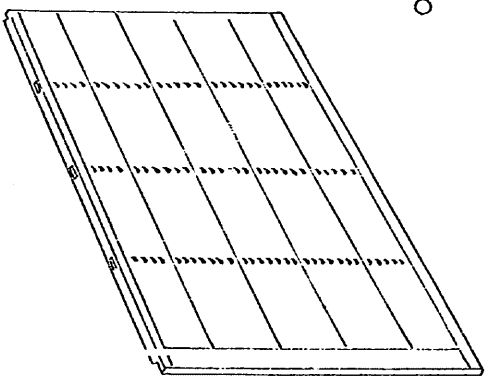
一第一卷第二卷ハ課頭ニ新出ノ文字ヲ置キ豫メ之ニ熟シテ後本文ニ入ラシメント計レリ是言語ニ得テ文字ニ移ラシメント欲スレバナリ第三卷以上ニ於テハ欄外ノ蠶頭ニ之ヲ掲グ文章ニヨリテ文字ヲ解セシメント意ナレバナリ

第一ハメト



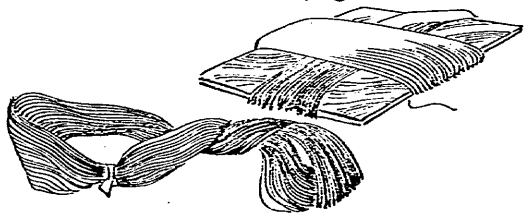


ト。



第二ノイ、三、

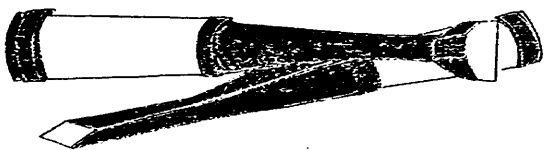
イト。



ノ

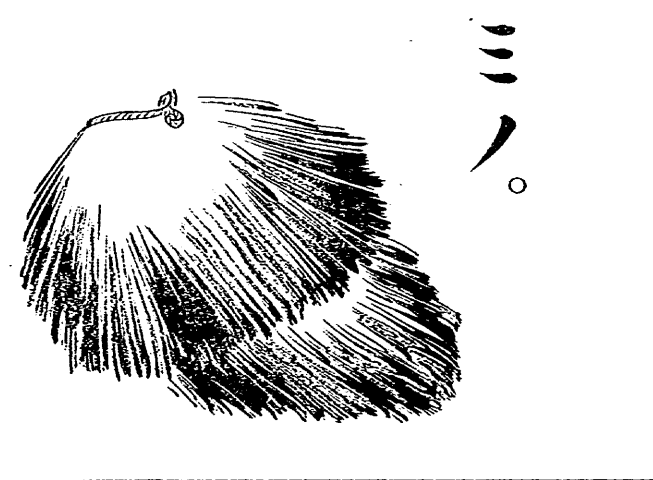
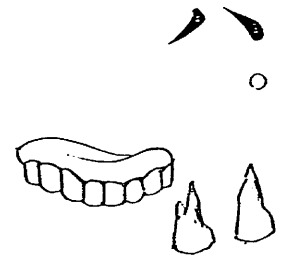
三

。



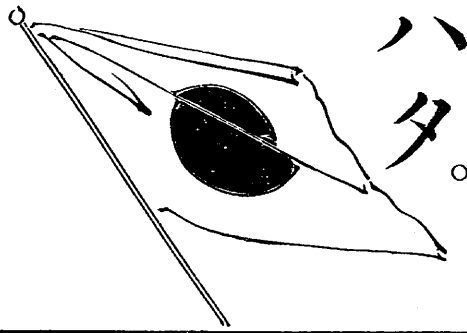
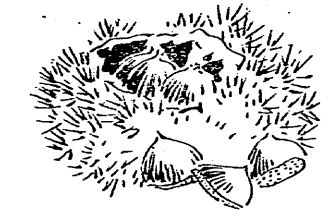
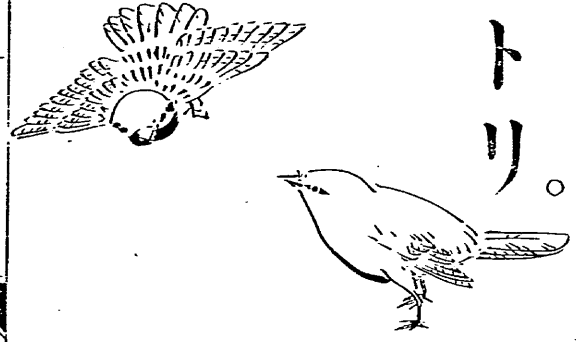
重習第一

石盤習字



ミトイメハノ

第三リク夕

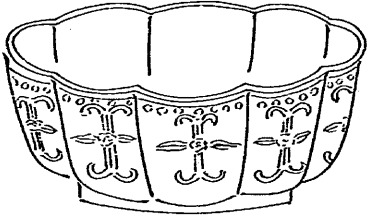


第四 十、チ、ケ

ハナ。



ハチ。



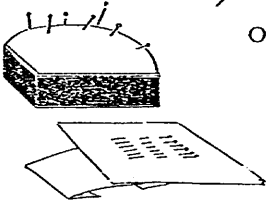
タケ。



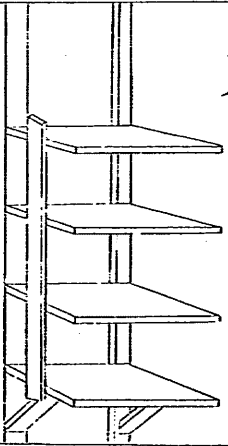
重習第二

石盤習字

ハリ。



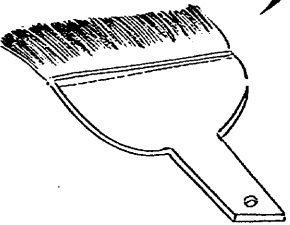
タナ。



クチ。



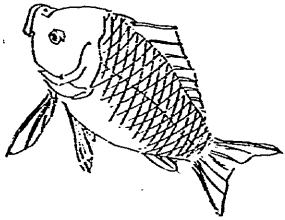
ハケ。



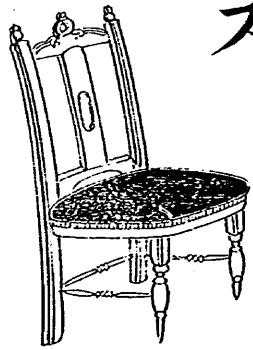
ケチナタクリ

第五 フラスヌ

フナ。



イス。



トラ。

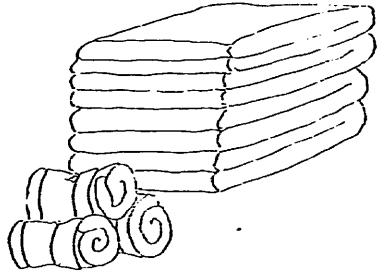


イヌ。

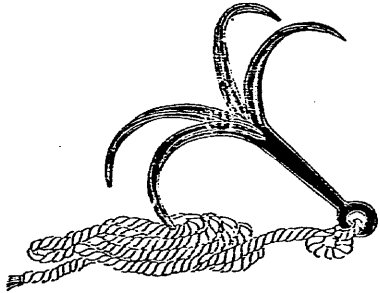


第六 ワカウ

ワタ。



イカリ。



ウリ。



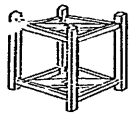
重習第三

石盤習字

カラス。



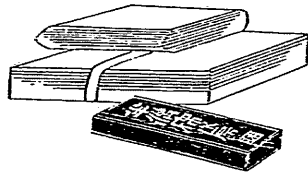
ワク。



ウミ。



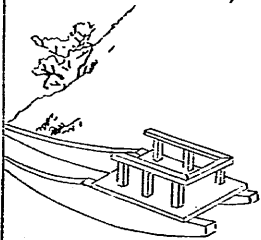
スミトカミ。ウメトタケ。



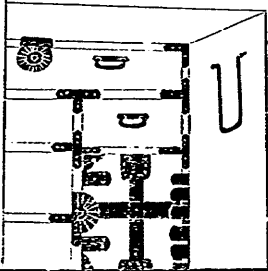
ウカワヌスラフ

第七 ソンシツ

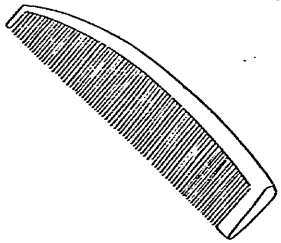
ソリ。



タンス。



クシ。



ツメ。



第八 二、エ、キヲテ

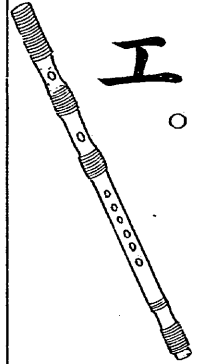
カニ。



テヲケ。



フエ。



キク。



ソテツ。



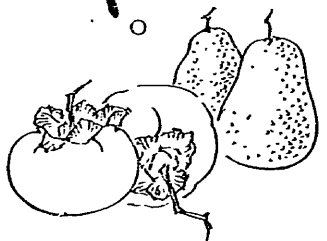
重習第四

石盤習字

ナシ

ト

カキ。



ケシ

ハナ。



ナンテンノミ。



ソ

シ

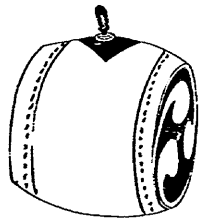
ニ

キ

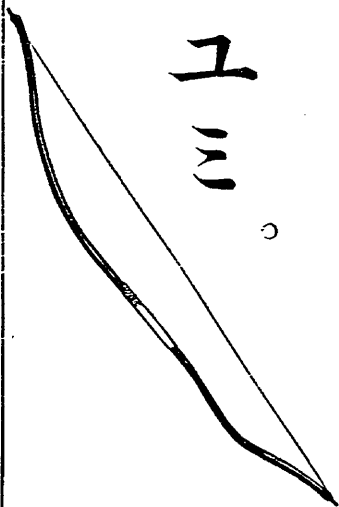
テ

第九 コ、ユ、ロ、ヨ、

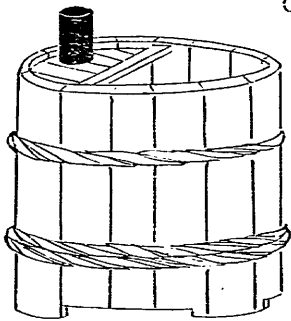
タイコ。



ユミ。



フロ。



ヨシ。

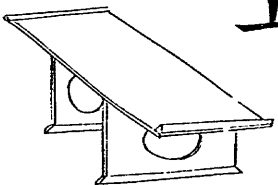


第十 マ、ヤ、ア、エ、子。

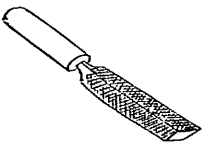
テマリ。



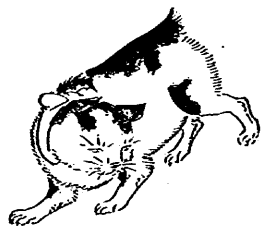
ツクエ。



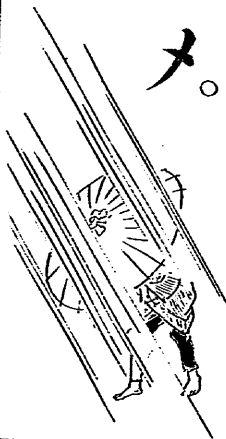
ヤスリ。



子コ。



アメ。

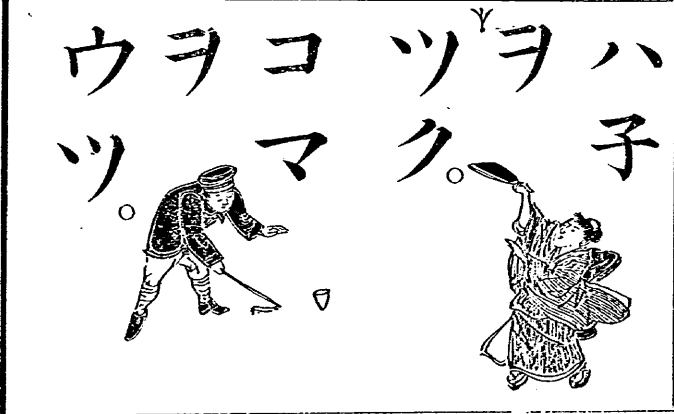


重習第五

石盤習字



イケニカマツニツル。



ハ子 ヲツク。 コマ ヲツ。

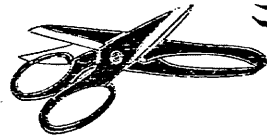
コロヨ マヤ アエ 子

第十一レル、ヒ、モ、セ、ム、

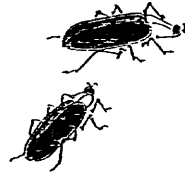
<p>レンコン。</p>	<p>キセル。</p>
<p>カモ。</p>	<p>ヒレ。</p>
<p>タル。</p>	<p>ムチ。</p>

第十二 サ、井、オ、ホ、へ

ハサミ。



ホタル。



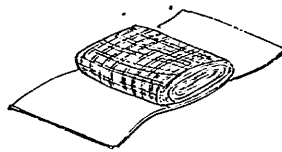
クワ井。



へチマ。



オリモ



重習第六

石盤習字

アマ フン テク
メラ ラン モク
リ。



カシ シク スク
ミロ ミロ



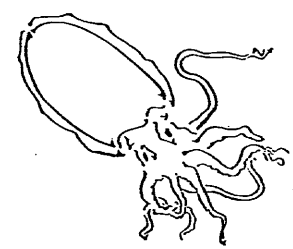
レヒ セサ オ
ルモ ム井 ホ

アイウエオ カキクケコ
サシスセソ タチツテト
ナニヌ子ノ ハヒフヘホ
マミムメモ ヤイユエヨ
ラリルレロ ワ井ウエヲ

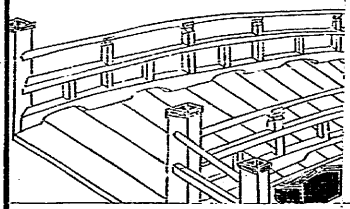
イロハニホヘトチリヌ
ルヲワカヨタレソツ子
ナラムウ井ノオクヤマ
ケフコエテアサキユメ
ミシエヒモセス シ

第十三 いか、げは、ほ

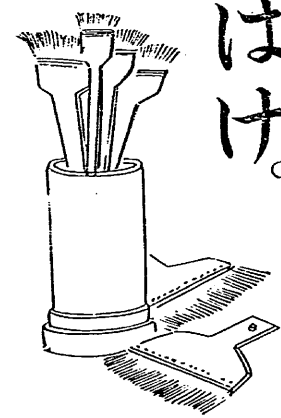
いか。



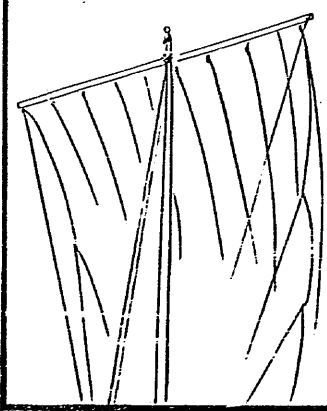
はし。



はけ。



ほ。

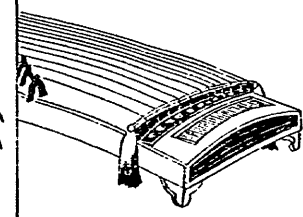


第十四 よま、こと

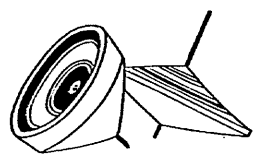
よし。



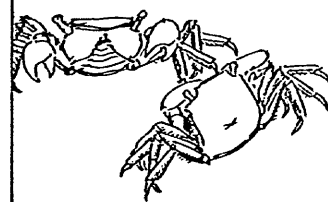
こと。



こま。



かに。



重習第七

石盤習字

かに
と
たこ



かま
よ
し。



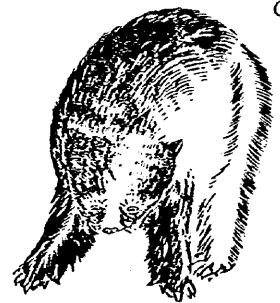
い
け
か
ほ
ま
よ
こ
と
に

第十五 たな、たりにくへ

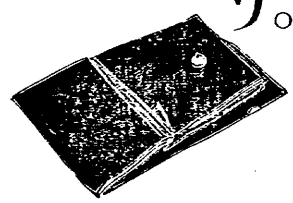
かたな。



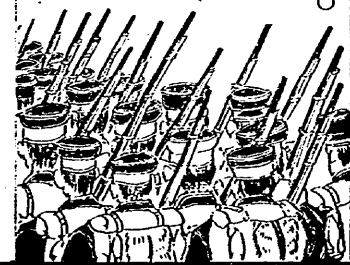
くま。



はたりに。



へいたい。



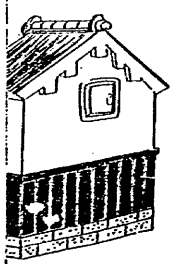
第十六 さきうらてうら



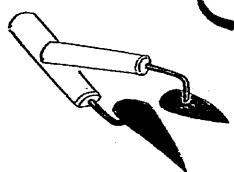
かた。



うて。



くら。



こて。



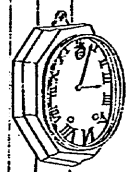
ま。



う。

重習第八

石盤習字



はしらに
とけい。

はかまと
はわり。



はなさく。
とりなく。



うつくまはま。

たな
たね
くへ
さき
うら
てう

第十七のあめぬろちる。

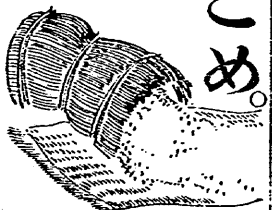
きのこ。



あー。



こめ。



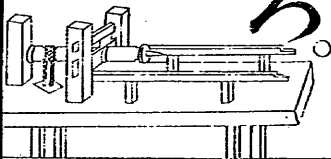
ちまき。



たぬき。



ろくろ。

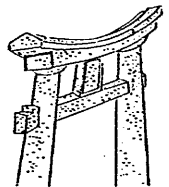


さる。



第十八のあせみゆあねれ。

とりゐ。



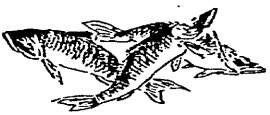
せみ。



ゆり。



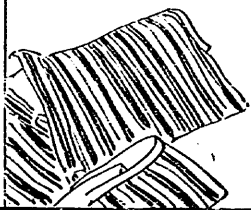
いわし。



きつね。

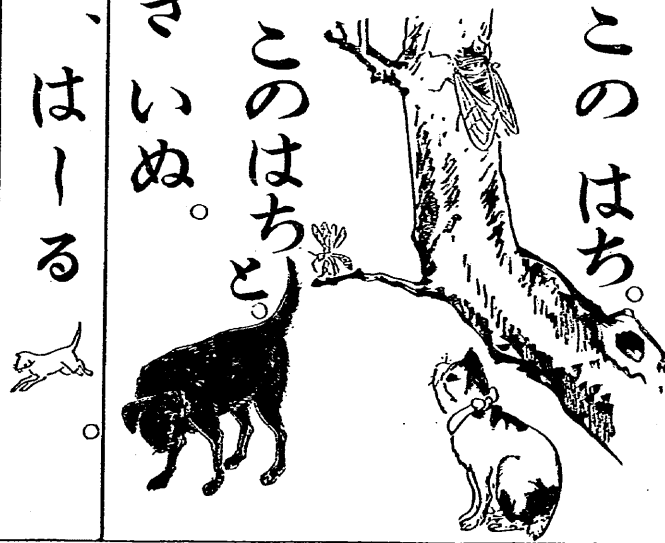


わたいれ。



重習第九

ろのせみ、このはち。
 このねこ、
 あのいぬ。
 ろのせみとこのはちと。
 あのくろきいぬ。
 ねたるは、はいる。



のめ
 あぬ
 ろち
 ろる
 せみ
 ねわ
 ねれ

石盤習字

第十九 やもとすむ

もも。
 すもも。
 むろ。
 やま。
 たもと。







第二十をひひふふん

たき。



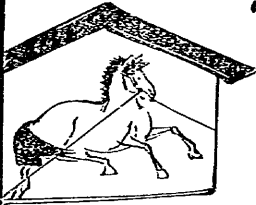
あひる。



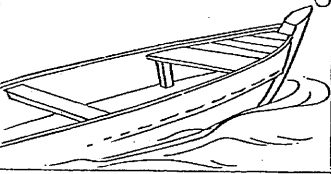
いのま。



うま。



ふね。



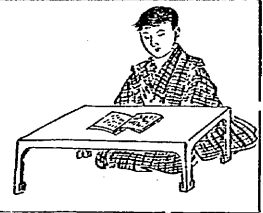
うほん。



重習第十

石盤習字

ほんを



たいこを



よまん。

うを



ふねを

ふく。



かかん。

かねの



いの



んふねひをとむすもや

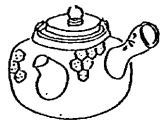
いろはにほへとちりぬ
るをわかよたれろつね
ならむうるのたぐやま
けふこほてあさきゆめ
みゝ急ひもせすん

あいうゑお かきくけこ
さしすせろ たちつてと
なにぬねの はひふへほ
まみむめも やいゆゑよ
らりるれろ わるうゑを

第二十一

ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、
は、ひ、ふ、へ、ほ、

カハラ かはらカレヒ かれひキフス きふす



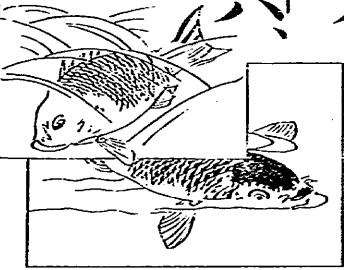
ナヘ なたへカホ かのほ



重習第十一

石盤習字

コレハコヒト
タヒトナリ。
コヒハカハニ
スウタスミ
スニム。



ハヒフヘホ

かのこは、
うたひ、
このこは、
わらふ。



ハヒ フヘ
ホ フヘ
は ひ
ふ へ
ほ

第二十二

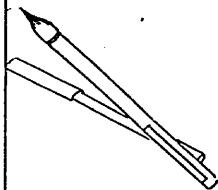
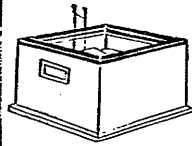
ば^バび^ビが^ガぎ^ギで^デ

ヒバチ

ひばち

テツビン

てつびん



ガン

がん

サギ

さぎ



重習第十二

石盤習字

ガンガ

ナキ

ツツ

トビ

ユケリ



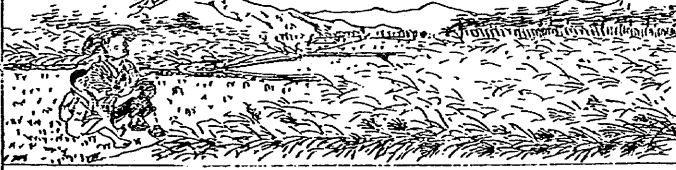
ムギヨ

カラシ

ハバリ

ハバリ

イスデヨ



バビ

ガギ

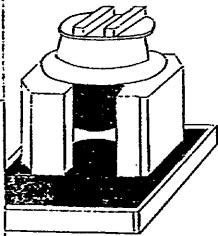
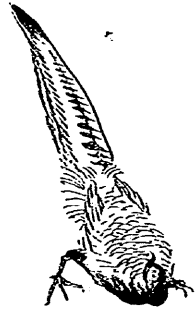
デガ

はび

てがぎ

第二十三 じ、ど、ぐ、づ、

キジ きド カマド かまど



ウグビス うぐひす ナマツ なまづ



重習第十三

トリ ハ、ソラニ

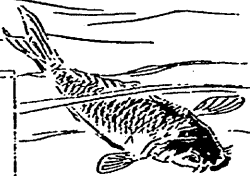
トビ、ウヲハ、



ミヅニ オヨグ。

アア、トビハ、

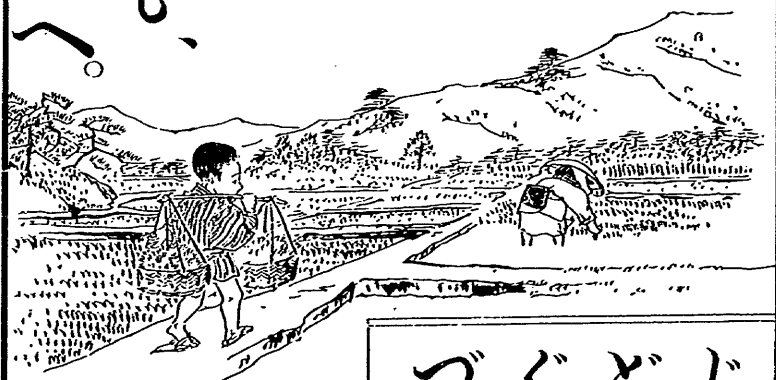
トビ、コヒ ハ、ヲドル。



ツグドジ

石盤習字

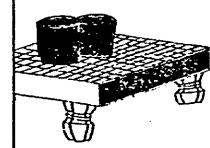
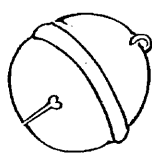
いまはなつのはじめなり。
 このこどもは、なへをはこび、あのむすめは、なへをうゑる。
 ああ、よきこども、てつだへ。てつだへ。



つぐとど

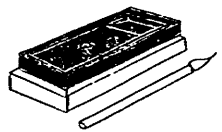
第二十四 ずぶぶぶ

スズすず カブ かぶ ゴバン ごばん

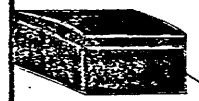


重習第十四

フデニテ、モジヲカク。
 スズリニテ、スミヲスル。



ツクエノ
 ウヘニ、
 ブシコヲ
 ノセル。ハ、
 ブシコハ、
 ナニカニ
 ナルカニ



ひくれ
 たり、
 いまは、
 なんど
 なるか。
 にご
 じならん、
 すずめ、
 にかへる。



ゴブズ
 とぶず

石盤習字

第二十五

ぼちぢだ

ボタン ぼたん
 モミヂ もみぢ
 ダイダイ だいたい



重習第十五

このごとはとんぼ
 をとらへんとす。
 とんぼはとびま
 はりて





ふぢだなの
うへにをる。
ああさをが
とどかぬ。

フヂノ
ハナハ、ナニイロ
ナルカ。ムラサキト
シロトアリ。
フヂダナノシタニアルハ、



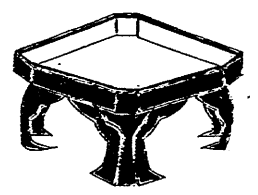
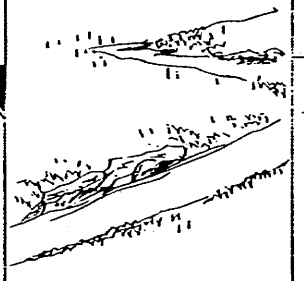
ナニナルカ。
コレハ、アヂサ井
デアル。

石盤習字

ボヂダ
ぼちだ

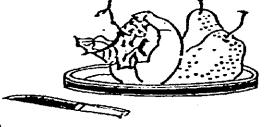
第二十六

ミゾ
みろ
ゼン
ぜん



重習第十六

ぼんのうへに、な
 ーとかきとあり。
 ぼんのわきに
 に、こがたな
 がある。
 かきなーなどは、
 くだものである。



カゼカゼフケヨ、
 タコガサガル、
 アガレタコヨ、
 タコタコアガレ、
 アアウレシ、
 アガルゾ
 タコガ。



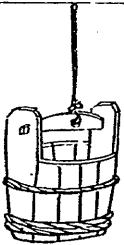
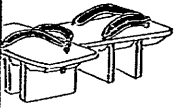
ぜろぜろ

石盤
習字

第二十七

げ、ざ、べ、

ゲ
 タ
 げ
 た
 ザ
 ク
 ロ
 ざ
 く
 ろ
 ツ
 ル
 ベ
 つ
 る
 ベ



重習第十七

さ
 ざ
 げ
 と
 な
 す
 と
 を
 か
 ご
 に
 い
 れ
 る。



なべにて、さい
をにる。
かまにて、めー
をたく。
ぜんにおんをのせ
はちに、だんごを
もる。




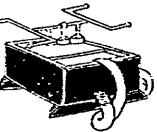



イザ、トクイソゲ、
マナビノソノニ、
スズリノ
ウミアリ、
モンジンノハナ
アリ。
ゲゲ
ザザ
ベベ



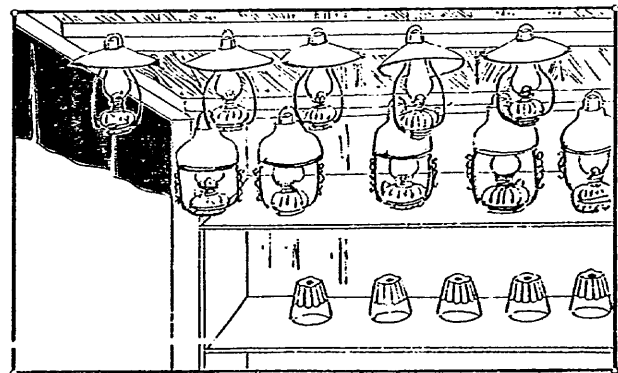
石盤習字

第二十八ハ、プ、ピ、ポ、へ、は、ひ、ほ、へ

一	カパン	ランプ	ペン	
三	かばん	らんぷ	ペン	
ニ	エンピツ	はち	ペン	
五	ほん	だ	ペン	
四	ほん	ち	ペン	

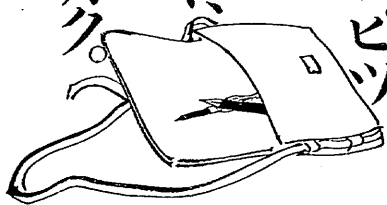
第二十九 一三三四五六七八九十

これは、がらすみせである。
 たなのうへに、こつぶが、
 一ツニツ三ツ四ツ五ツある。
 はりにかけたるらんぶは、
 六ツか七ツか八ツか九ツか
 十ツか、がろへてみよ。



重習第十八

カパンノナカニ、ペントエンピツ
 トヲ、イレテヨリマス、
 ペンハスミヲツケテカキ、
 エンピツハ、キヲケヅリテカク。



パ。ピ。プ。へ。ホ。ば。ひ。ぶ。へ。ほ
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

石盤習字
 一 二 三 四 五 | 一 二 三 四 五
 六 七 八 九 十 | 六 七 八 九 十
 十 九 八 七 六 | 十 九 八 七 六
 十 九 八 七 六 | 十 九 八 七 六

K120.8

木桑讀本 第一

扶桑讀本第一終

福岡縣福岡市博多下吳服町

鐵耕堂編纂部

福岡縣福岡市博多下吳服町

鐵耕堂 竹田 芝 郎

福岡縣福岡市糝屋町

高田芳太郎

山口縣赤間關市入江町

山名松次郎

山口縣厚狹郡舟木町

中原卯兵衛

定價五錢

明治二十七年

十二月十八日

印刷

明治二十七年

十二月廿八日

發行

版權
所有

編輯者

發行兼
印刷者

發賣所

同

同

